

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：九州地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：栗田 泰正

事業名	破籠井鷺崎線 <small>わりごいしわざきせん</small>	事業区分	街 路	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県諫早市鷺崎町 <small>いさはやしわざきまち</small>	至：長崎県諫早市仲沖町 <small>いさはやしなかつまち</small>	延長		1.3km
事業概要：当路線は一般県道諫早外環状線の一部で、島原鉄道との立体交差を含む延長約1.3km幅員25mの4車線道路であり、県央地域の市町村合併の中心となる諫早市の渋滞緩和を図る上で重要な路線である。					
H1年度事業化	S44年度都市計画決定 (H5年度変更)	H2年度用地着手	H5年度工事着手		
全体事業費	81億円	事業進捗率	69%	供用済延長	0.6km(暫定)
計画交通量	32,700台/日				
費用便益分析結果	B/C： (事業全体) 4.0 (事業別)	総費用： (事業別/事業全体) /92億円 事業費：/90.5億円 維持管理費：/1.4億円	総便益： (事業別/事業全体) /367億円 走行時間短縮便益：/330.7億円 走行費用減少便益：/24.2億円 交通事故減少便益：/11.7億円	基準年： 平成15年	
事業の効果等 ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する。） 他3項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 平成17年度に県央地域の市町村合併を控えており、関係町からも広域的な施設（農業高校、総合病院、ゴミ処理施設等）のアクセス道路となる当路線の早急な整備が望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等：なし					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収が難航していたうちの一部分において解決が図られ、平成15年12月に0.6kmを暫定供用した。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等：依然として用地買収が難航している箇所があるが、早期の解決を図り早急に立体交差部工事に着手し事業の早期完了を図りたい。					
施設の構造や工法の変更等：なし					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば当初からの事業の必要性、重要性は変わらない。				
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <h3>破籠井鷺崎線</h3> <p>破籠井鷺崎線 L=1,290m W=25m</p> </div>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。